

第2回検討委員会での意見等	再整備に向けた望ましいあり方(キーワード)	テーマ
<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート調査からも、イベント利用などにぎわいの推進が求められている ○整備については、人が集まり、利用されてこそ成功と言える ○興味を持ってもらうためには、魅力的なイベントなどで「きっかけ」を与えることが必要 ○ステージの天井高が高いのは、音楽関係のイベントでは評価が高い ○ステージ地下室などは、控室利用など有効的に利用できるよう改善する余地がある ○若者の数はG街区の機能集積により増加する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ さまざまなイベントが行われ、活力のあふれる場所 ■ 小さな子どもたちが元気に楽しく遊べる場所 ■ 多様な人々が訪れ、多くの交流が生まれる場所 ■ 新しい発見や若者が活躍できる場所 	<p>にぎわいの創出</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○公園南側の樹木については、森として整備しても良いのではないか ○老木については、このような機会を生かして整理すべき ○10年先、20年先を見据えて樹木を整理したい ○木漏れ日があると、休憩場所や憩いの場所につながる ○公園で科学館に来る子どもたちが狭いスペースに固まっていて、くつろげるスペースがなかった ○木は必要だが、点在するのではなくたまり場と木のスペースにすみ分けるべき ○公園南側の森は、トイレ利用のしやすさやG街区の学生さんたちの利用可能性も含め、周辺をスッキリさせるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちなかにいながら適度な自然が感じられる場所 ■ 駅周辺で憩いを感じられる空間 ■ 誰もが気軽に腰を下ろせる空間 ■ お昼やイベント時に休憩しやすい設備 	<p>ゆとりとやすらぎの確保</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート調査からも、小さな子どもの利用が望まれている ○低いところの物で、隠れたり、外から見えなくならないよう子どもの安全を考えるべき ○子育て世代も大事だが、高齢化も進んでいるため高齢者の利用も考えるべき ○公園内にあるトイレは怖くて低学年の子どもには行かせられない ○学生たちの動線になるため、自転車利用など安全面に配慮しなくてはならない ○避難所を想定するとトイレも大事になってくる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 親子が安心して遊べる見通しの良い空間 ■ 小さな子ども、お年寄りが安全に利用できる空間・設備 ■ 自転車通行動線の適切な誘導 ■ 緊急時の避難場所として利用できる場所・設備 	<p>安心・安全の提供</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○噴水周辺など、テントを張ったり利用に際してもっと工夫できることがあるのではないか ○汎用性が高い空間を生み出すことで、さまざまな利用の可能性が広がる ○広いスペースがあれば、利用に合わせたレイアウトの検討が柔軟にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 回遊性が高く、北側から南側まで多くの人が利用する場所 ■ 周辺施設とのにぎわいを連続し、共有できる場所 ■ 汎用性が高く、様々な用途に対応できる空間の確保 	<p>空間の有効活用とまち全体への寄与</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○広場でのイベントや科学館公園の存在を知らなかったことに驚いた ○自分のまちですら、歩いてみないと気付かないことがある ○若者の足が向くような、スポット的な整備も面白いのでは ○サンピアザの広場までは来たことがあるが、その先の広場・公園の存在を知らなかった ○魅力的なイベントを増やすなど、知名度を上げる工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ いつ何が行われているのか誰もが知れる場所 ■ 周辺の施設と連携した取り組みや有効な活用が図られる場所 ■ 区外からも人が訪れたいくなるような目的を創出する場所 	<p>情報発信と魅力の強化</p>

○多様性を生み出しつつ、どの空間でテーマを達成すべきかのゾーニングを明確に意識し、再整備内容を検討する